

三重民報

三重民報社

〒514-0003

津市桜橋 1-609

電話 059-227-7301

発行人 岡野恵美

jcp-mie@beach.ocn.ne.jp

2021年度県一般会計予算 コロナ対応・国体関連などで 史上最高約7882億円

日本共産党

山本 りか県議



3月23日におこなわれた県議会で、日本共産党の山本りか県議は、提案された86議案中75議案に賛成し、11議案に反対しました。

山本県議の反対討論

一般会計予算は総額7881億9721万円。新型コロナウイルス関連費548億円や、とこわか国体・とこわか大会に向けた開催経費や競技力向上対策費86億7400万円がかさんだことから、県政史上過去最高となりました。新型コロナウイルス感染防止と経済再生を重点施策とし、東日本大震災から10年を迎え防災対策にも注力した方針には基本的に賛同いたします。

しかし、県民の命・健康を守り抜くための新型コロナ対策は不十分です。

コロナ封じ込めは本気の検査で 医療機関のがんばりに応えよ



【PCR検査体制】
PCR等検査費用は今年度実績の約9億円から約40億円と大幅に充実しますが、検査対象は基本的に、陽性者が出た場合の濃厚接触者・接触者を中心とする方針のままです。昨秋以降、医療・介護・保育現場でのクラスター発生が相次ぎ、宣言解除後のリバウンドと変異株の感染懸念もあります。国も福祉施設等での定期的な幅広い検査の実施を求めるようになりました。無症状の感染者を保護するための積極的検査体制へ転換をすべきです。

【病床機能分化推進基盤整備】
新型コロナウイルスパンデミックで医療体制の脆弱さが浮き彫りになりました。患者受け入れの中心になっている公立・公的病院の頑張りや、地元医師会の協力を支えられてきましたが「もう限界」との声が上がっています。

余力がないと緊急時に機動的に対応できません。「病床削減ありき」の地域医療構想は、その余力をそくことになりません。病院の統廃合をすすめ、社会保障のためと強行した消費税増税分をそこに充てる

など三重三重に間違っています。

【国民健康保険特別会計】
県が財政運営に乗り出して4年目となり20の市町で保険料の値上げが続いています。保険料の県内の統一に向け、来年度の市町からの負担金の計算方式を医療費水準の格差係数を小さくすることは、地域医療実情、地域特性を無視する方向へ進み更なる値上げにつながります。保険料負担が厳しいことは周知の事実であるにもかかわらず、国

マイナンバーもリニアもいらない 少人数学級さらに進めよ



【リニア中央新幹線】
県内駅候補地選定という新たなステージに入ったと力が入っています。900万円は主に宣伝広報費です。

工事によって流出する地下水を全量戻すことができないことや、東京外環道の陥没空洞事故を受けて、東京名古屋間2027年開業の見通しがたたなくなっています。今は、リニアよりコロナ対策です。

【少人数学級】
小学2年生へ、35人学級が拡大されます。感染症3密対策も

県民のみなさんと実現

- 河川、砂防堤防土砂撤去費の増額
- 横断歩道塗り替えが3倍 3700本
- 道路面標示(停止線等)塗り替えが1.1倍 13670個
- 区画線800km引き直し
- 視覚障がい者対応のスマホ連携信号設置
- 小学3年生の35人学級実現
- 不妊治療支援の所得制限を撤廃
- ひきこもり支援

実態調査と支援充実



の言いなりで県民の痛みを奇り添う姿勢が見られません

あり、1学年ずつ4年かけて小学校すべてで35人になる方針です。文科省が法改正を行うこととの1年前倒しをして県が取り組むことは、長年要求してきた日本共産党としてうれしいことです。

しかし、懸案の、小1・2年の25人下限条件はそのままです。三重県が30人学級に先んじて取り組んできたことを是とし、25人条件を外し、さらに30人以下学級への拡大を望みます。



県議団 ホームページ
議会活動はこちら
<http://kengidan.jcp-mie.jp/>



県民要求実現、県政のゆがみ正す 日本共産党県議

2年前に1議席となった日本共産党の県議…。しかし、この2年間、県民のみなさんの運動に励まされながら、県民要求の実現や県政のゆがみを正すために全力を尽くしてきました。

県民と力を合わせ、願い実現に全力

○少人数学級小学校3年生へ拡大

署名を集め、県議会に請願を出すなど、県民のみなさんと一緒に要求し続けてきた「みえ少人数学級（小1・小2・中1）」が、国の実施より1年前倒しで小3へ拡大されることになりました。

○県立学校の環境整備

県立学校の普通教室のエアコン設置と維持費（電気・ガス代）への補助、特別教室への設置拡大が実現。トイレ改修も4年計画ではじまります。

○被害現場へ飛び、支援を要求

2019年の県北部豪雨や伊勢志摩豪雨、2020年の紀宝町豪雨災害、さらに鳥羽カキ大量死被害では、党国会議員といっしょに現地調査。被災者のみなさんの声を国や県に届け、改善を求めました。

○新型コロナ対策で4回の要望書提出

保健所・病院・事業所などへ聞き取り調査をおこない、県に要望書を提出しました。



負担増を許さず、県政のゆがみを正す

○消費税増税による値上げはやめよう

手数料・利用料の値上に反対したのは山本りか県議ただ一人。「消費税下げて」の県民請願には山本りか県議のほか稲森県議が賛成しました。

○国民健康保険料下げよう

高すぎて払えない保険料が問題となっています。せめて子供の保険料均等割りはやめるよう求め、来年度から乳幼児の保険料が5割減免となりました。

○同和意識調査はやめよう

不適切な設問で同和問題が突出した内容の人権意識調査や人権広告は差別の解消に逆行と、県の姿勢を追求しました。

○病院ベッド削減はやめよう

コロナで顕著になった医療の大切さを訴え、公立・公的病院の統合を進めるのは見直すべきと主張しました。

国にハッキリものを言い、悪政から暮らしを守る

○「リニア」中央新幹線

リニア中央新幹線の延伸問題では、RDF発電やガス化溶融炉など「夢のプラン」掛け声に見切り発車した事業で手痛い目にあってきた教訓は生かされないのか、と追及。環境にも財政にも大きな負担。

○「デジタル」改革？

人間でなくてはならない仕事こそ役所の本分。データ分析などの時短化で生み出された人間力を、県民サービスの充実に活かすよう求めました。



国の政治そのものを変えるために、私たちもがんばります。

衆院議員 本村伸子
前衆院議員 島津幸宏
党愛知県准県委員 長内史子

住民のいのちと暮らしを守る政治へチェンジャー市町議選で前進

「市民のくらしを守る共産党の議席増え」と訴えました。



伊賀市議 かまい敏行



伊賀市議 百上まな

伊賀市議選では、日本共産党の百上まな（現）・かまい敏行（新）の両氏が当選し、8年ぶりの2議席回復となりました。両氏の得票は合計で2580票で、得票率も前回から前進しました。両氏は「市民のくらしを守る共産党の議席増え」と訴えました。

伊賀市議選

議席・得票数・率ともに前回増



大紀町議 大東政司

大東町議は、PCR検査の拡充、生活困窮者や事業者への支援、コミュニケーションの向上などを訴えました。

大紀町議選

得票数・率ともに前回増

2月28日に投票された大紀町議選で、日本共産党の大東政司氏（現）が465票・5位で当選。前回の町議選から得票数・率ともに前進しました。